

事例8-3



取組名	若手の自主グループ「蒼鷹会」の活動		
町会名	にいむらしもにいきた 新村下新北町会（新村地区）	町会 データ	・人 口／317 人 ・世帯数／149 世帯 ・高齢化率／42.3% ・町会加入数／104 世帯 ・常会数／なし ・隣組数／10 組
取組概要	○ 町会内の若手（20 代から 60 歳）で、自主活動グループ「蒼鷹会」を組織 ○ 町会行事の運営に協力するほか、町会との共催で「下新北防災まつり」を企画		

背景・課題

- ・ 隣組は 10 組あり、かつては冠婚葬祭などで重要な役割を担っていたが、組の活動や交流機会がなくなり、隣近所の関係が希薄化している。
- ・ 伝統行事や敬老祝賀会、新年会などは、一般参加者が減少し、準備の負担から役員側の顔ぶれも固定化しているため、新しいイベント等の企画に頭を悩ませている。
- ・ 町会役員は、概ね年齢順に務め、町会長職には、副町会長経験者が就任する慣例となっているが、団塊の世代が引退したあとの人材確保が懸念されている。

経過・取組内容

- ・ H28 に、町会在住の若者コミュニティとして、20 代から 60 歳以下の比較的若い世代が、「蒼鷹会（あおたかかい）」というグループを立ち上げた。
- ・ 町会内にある「レストラン上高地」（通称レスカミ）を会の聖地として、会議という名の懇親会を不定期に開催している。
- ・ 会の自由な発想に基づいた話合いから、野営（バーベキュー）部、登山部、芝刈り（ゴルフ）部、二輪部、ふらば（ワンバウンドフラバールバレー）部などが生まれている。各部は、希望すれば参加できるものとし、複数に所属することも可としている。
- ・ R7 年度は、若者グループと更に連携していくため、「蒼鷹会」と町会が共催し、防災訓練やバー

ベキュー（BBQ）による親睦を内容とする「下新北防災祭り」を計画。当日雨天のため、DVD 学習会のみとなったが、次年度以降も開催を予定している。

成果・今後の展望等

- ・ 蒼鷹会の活動を通じて、若い世代の横のつながりを作るだけでなく、卓球大会や三九郎等の町会行事の運営に協力するなど、町会活動にも貢献している。
- ・ 会の活動として、公民館の広場で BBQ や宿営（キャンプ）を行っているが、災害時に備えた道具の点検や使用方法を学ぶ訓練の機会にもなっている。
- ・ 現役世代を始めとした若い世代が活躍できる場を確保し、町会との関わりを増やしていくことで、将来の担い手づくりにつながっている。



【ポイント】

- ▼ 若手の横のつながりで、町会活動を活性化
- ▼ 若い世代が活躍できる機会を確保することで、将来の担い手を育成